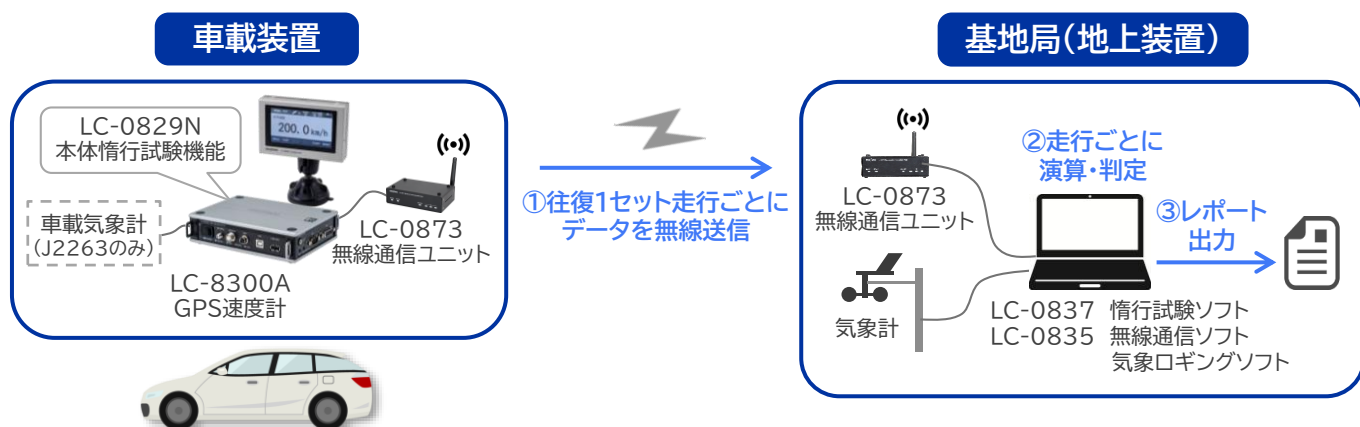


惰行試験システム

概要

車両を惰行(コーストダウン)させて走行抵抗を計測するシステムです。各種法規に対応しており、幅広い試験要件に柔軟に適応可能です。高速走行時でも安定した通信が可能な無線方式を採用し、試験結果の取得を一元的に管理。法規認証試験の真正性を確保するとともに、データガバナンスの強化にも貢献します。

◆ システム構成例



特長

● 正確・迅速・透明 — 試験業務を革新する試験フロー

①無線通信によるデータ送信

走行ごとに、試験車両から基地局へデータを無線送信。ドライバーは運転に専念でき、車両からのデータ回収は不要です。

②試験結果をリアルタイムで確認

基地局で受信したデータは即座に処理・演算されるため、認証官や試験担当者は、リアルタイムで試験結果を確認可能。試験の透明性を確保し、手戻りを防止します。

③レポート出力まで一括管理

演算・判定結果は、帳票としてファイル出力。転記ミスを防ぎ、データの正確性が向上します。

● 混走試験に対応

最大10台の車両で試験を同時に実施することが可能です。複数車両での運用もスムーズに行えます。

● 外部のテストコースにも持ち出しできる可搬式基地局

気象計や基地局の可搬式仕様も選択できるため、外部への持ち出しや柔軟な運用が可能です。

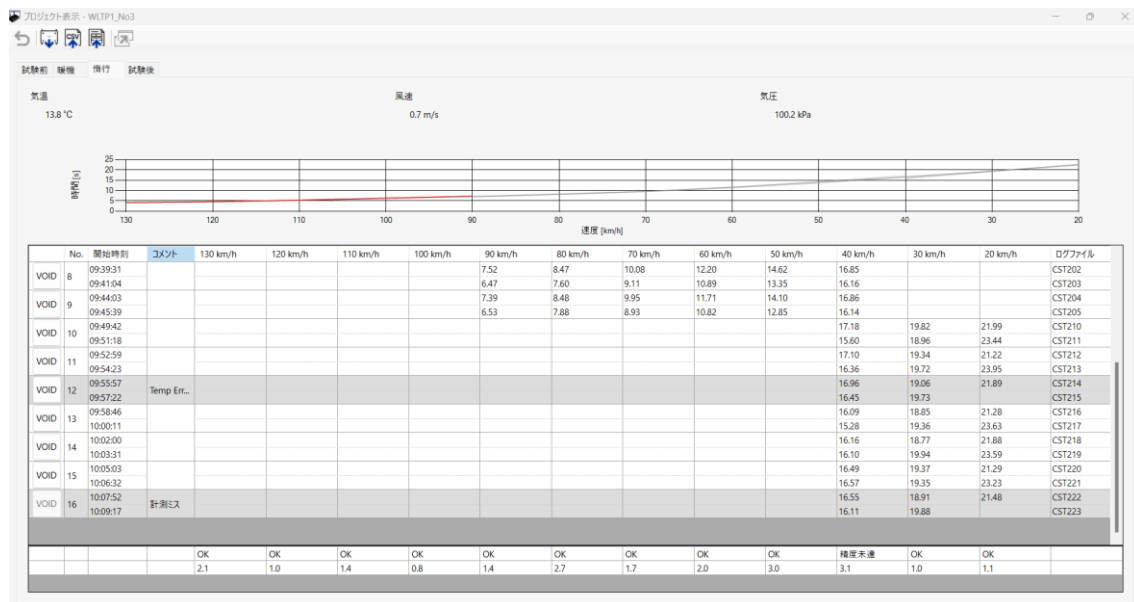
対応法規

WLTP	UN R154
SAE	J2263
国土交通省令(日本)	JC08
NEDC	UN R83、UN R101
国6(中国)	GB18352.6
PROCONVE	ABNT NBR 10312

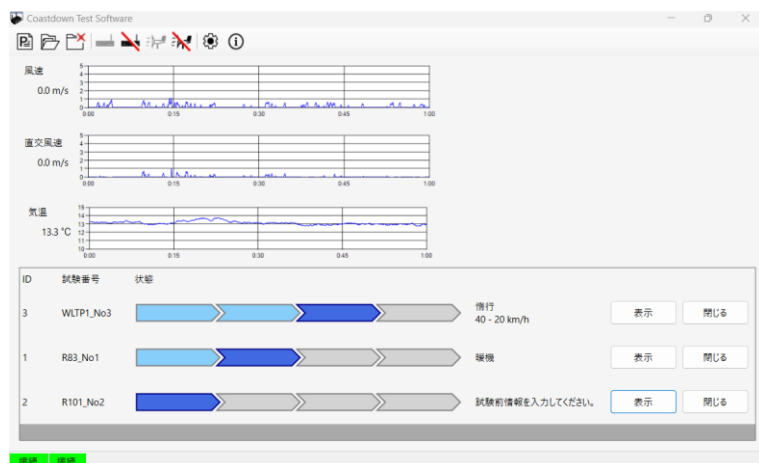
記載事項は変更になる場合がありますので、ご注文の際はご確認ください。

惰行試験システム

計測画面イメージ



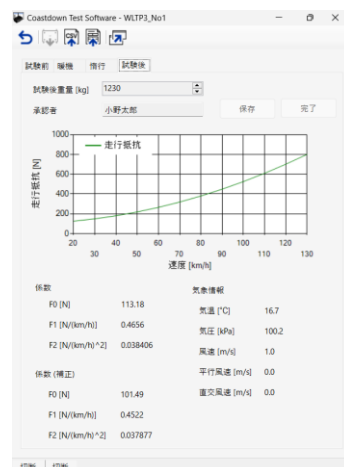
プロジェクト詳細画面 (惰行走行)



メイン画面

上: 気象データのトレンド表示

下: プロジェクトの一覧表示



プロジェクト詳細画面 (試験後)

製品構成

型名	品名
LC-8300A	GPS速度計
LC-0873	無線通信ユニット
LC-0835	無線通信ソフトウェア
LC-0829N	本体惰行試験機能
LC-0837	惰行試験ソフト
—	気象計

【無線通信の仕様について】

- 通信距離の目安は約100mです。環境によっては100mを超える距離でもご使用いただいた実績があります。詳細についてはご相談ください。
- 国外への持ち出しをご検討される場合は、ご購入いただいた販売店または当社営業所、お客様相談室にお問合せください。

記載事項は変更になる場合がありますので、ご注文の際はご確認ください。